昭和51年2月5日
広報あじす　毎月5日　発行
お知らせ版　毎月20日

山口県吉敷郡阿知須町
発行　阿知須町役場
電話4111番㊥・〒754—12

印刷　阿知須砂郷よしの印刷

広報あじす

№291

町の住民登録人口
（51年1月31日現在）前月比
世帯　2,107世帯　＋7
人口　8.120人　＋10
（男3.882人　女4.327人）
（国勢調査　昭和50年10月1日）
世帯　2.113世帯
人口　8.137人
男3.771人　女4.366人

税の申告3月15日まで
自分で計算納得いく納税を

ことしもまた所得税の確定申告と納税時期がきました。期限は三月十六日から三月十五日までです。

所得税の確定申告をした人は事業税・住民税の申告をしなくてもよいように申告が一本化されています。

山口税務署と町では納税相談も行います。正しい申告で納得のいく納税につとめましょう。

どんな人が申告をするか

農・商・工・自由業などの百分で事業を営んでいる人、あるいは、土地代、家賃、配当金などの収入のある人、または土地、家屋など資産を売った人が主として対象です。

これは昨年と変ってはいませんが、具体的には次のとおりです。

①所得の合計額が所得控除を差引き、その金額を基として算出した税額が配当控除額より多い人

②みなし法人を選んでいる人

③給与収入額が一千万円をこえる人

④給与を二か所から受け、しかも給与所得・退職所得以外の所得が二十万円をこえる人

⑤給与を二か所以上から受けて二十万円をこえる人

⑥同族会社の役員やその親族などで、その法人から給与のほかに貸付金の利子、店舗などの賃貸料や現金、預貯金、株式などの財産を受けている人

⑦資産所得の合算課税の適用を受ける人

⑧災害を受けた人で、災害減免法により源泉徴収税額の徴収猶予や還付を受けた人

贈与税の申告も

贈与税の申告は二月一日から始まっています。五十年中に不動産申告書に記入、納得のいく納税をということで、昨年から納税者の・自己申告・を指導しています。

このため、二月十日年後一時から商工会事務所で確定申告記入説明会（山口税務署主催）を開くほか、町でも地区別に日程をきめ例年どおり納税相談に応じます。

自分で申告書を
十日には記入の説明会

申告書は自分で計算し、自分で記入する人とされています。

税率は受けた額によって違います。

申告書は自分で計算し、自分で記入する人とされています。

会場は役場会議室。時間は平日が前九時から後四時まで、土曜日は前九時から前十一時半まで。

なお、生命または建物保険等を掛けている人は払込み証明書を必ず持参ください。

相談の日程

申告のための相談を例年のように行います。地区別に分けていますので できるだけ日程に合わせておいでください。

2月	午前	午後
20日(金)	青畑、仙在	砂三、岡
21日(土)	浜	
23日(月)	河内	向井関
24日(火)	枝川、沖の原	岩西、砂一
25日(水)	門松、小東	目東、目西
26日(木)	浜表	縄南、西条
27日(金)	飛石	源河、篠地
28日(土)	野口	
3月		
1日(月)	目北	縄北、南祝
2日(火)	岩前、小南	恵比須
3、4日	税務署職員に相談のある方はどの日に（前九時～三時）	
5日(金)	引野	井関、砂二
6日(土)	岩辻	
8日(月)	岩土	岩西前、中村
9日(火)	赤迫	小西、前山、寺河内
10、11日	指定日に申告できなかった人	

（とじておくと便利です）

愛の定期便30回

匿名で毎月五百円

封筒に五百円の金券を入れて毎月町社会福祉協議会へ送ってくれる人があり一月でちょうど三十回を数えました。

この愛の定期便に社協事務局では「一体どなただろう」と匿名さんに感謝しています。

この匿名の金券入り封筒が最初に届いたのは四十八年の七月。以来、毎月五百円の為替を入れて郵送されています。封筒には阿知須町役場内 社会福祉協議会御中と あり宇部局の消印。字体からしても男女、年齢など全然見当がつかない状態です。しかし、すでに三十回にもなり総額一万五千円が届けられたわけで、「ひとことでもお礼を述べたい」と係員はいっています。

（写真は定期便の封筒）

中尾正一氏が再び教育長に

大田氏は病気で辞任

大田繁雄・町教育長が病気のため一月十日付で辞任、代って中尾正一・町教育委員長（七八）＝浜表＝が教育長に就任しました。

辞任の大田氏は小学校長を退職後、四十六年八月から阿知須教育長の後任として就任、四年六か月にわたり町の教育行政に専念してきました。六十二歳。

再び教育長に就任した中尾正一教育長は阿知須中学校長を退職後昭和二十九年から四十六年まで十六年七カ月、教育長を勤めた経験者です。

就任のことば

中尾正一

大田・前教育長が病気のため退職との報に接してびっくりしました。早速、教育委員会を開いて前任者の後任を話し合いました。時期的に人事・予算編成を控えており、年間で一はく々大事な時期でもあるのも一昨年来、健康を損ねておりましたが、この際、十分養いたしたいと存じ、辞任させていただきました。在職中は普段の教育に対する熱意と絶大なご支援、ご厚情を賜わり厚くお礼申し上げます。

どうか本町の教育がますます充実発展するよう念願いたしますと共に、皆様のご健康をお祈りし、心からの感謝を捧げましてごあいさつといたします。

辞任にあたって

大田繁雄

一昨年来、健康を損ねておりましたが、この際、十分養いたしたいと存じ、辞任させていただきました。在職中は普段の教育に対する熱意と絶大なご支援、ご厚情を賜わり厚くお礼申し上げます。

どうか本町の教育がますます充実発展するよう念願いたしますと共に、皆様のご健康をお祈りし、心からの感謝を捧げましてごあいさつといたします。

新婚さんいらっしゃい
誓いの森
岡山墓地公園へ 愛の証の記念植樹運動

将来の幸せ、永遠の愛誓ってを墓地公園として整備する計画を第二の人生にスタートした人たちに記念植樹の場を与え、合わせて愛郷心の高揚をはかろう……と町では新しく・誓いの森・をつくることになりました。

この・誓いの森・は町の岡山合同墓地付近の町有地を開放、結婚記念に木を植えていただこうとするものです。町としてはこの一帯を墓地公園として整備する計画もあります。しかし、それに伴いもっており、地域の人々の手で緑化が進められれば一層意義深いものとなるとの考えから、この・誓いの森・を計画したものです。

特に本町は・花とみどりと野鳥のふるさと・をキャッチ・フレーズとして緑化運動を進めており、この森がその一翼を荷負うことになります。しかし、それに伴いて、ふるさとに根をおろし、愛郷心をもち、社会奉仕のよろこびをもってもらいたい、そして、家の繁栄と共に、その木も大きく伸びてほしいとの願いも込められています。

植樹できるのは一月以降に結婚された人としていますが、去年結婚された人でも植えたいとの申し出があれば植えられても結構です。木は本人に負担願いますが、木の種類、植える時期は自由です。しかし木によって植える適期があるので、その点は町で指導します。

植え付け後は町の植樹台帳に記録し、町有物として町で管理します。

今後、結婚される人は・誓いの森・づくりにご協力いただきますよう お願いします。ご希望の場合は町教生課へお申出ください。

特別委員会設置
「農村モデル」で町議会

阿知須町農村総合モデル事業特別委員会を設けることになり、八人の委員を決めました。委員は次のとおり。

▽委員長＝芥川貞一▽同副＝岩井久生▽委員＝中田光人、大村勝福岡実、菊本文男、正司重徳、伊藤茂男

消防団異動

第三分団長・竹重方一氏の退任に伴うの

▽第三分団長＝田辺正（同副）

▽同副＝辻下節男（部長）

▽部長＝中川清（団員）

お知らせ

登記の相談も無料で応じる
2月13日心配ごと相談

二月の心配ごと無料相談（町社会福祉協議会主催）は二月十三日午前十時から午後三時まで役場で行われます。

いつものように法律や、生活、教育問題も扱いますが、今回は特に「登記」について司法書士会宇部支部の真田久之二沢田和男の両氏が回答を担当します。

登記に関して個人が司法書士に相談する場合、相談料を支払うのがたてまえとなっています。しかし、今回は司法書士会の好意で無料で相談が受けられるわけです。

内容は相続や土地、建物の売買、贈与、それに関連する所有権移転、また変を新しく建てたときの保存登記、抵当権の設定、仮登記、その他登記に関することなら何でも相談に応じます。ご利用ください。

植樹台帳に記録し、町有物として町で管理します。

22日に柔剣道大会

第四回柔剣道大会が二月二十二日阿知須小学校でつぎのとおり行われます。十五地区対抗戦と個人戦です。ふるって参加ください。

▽参加資格＝町内在住者

▽チーム編成＝柔道は一般と高校生で一チーム三名、剣道は一般高校・中学生の編成で一チーム三名。ただし先鋒は学生。柔剣道とも一チーム二名でもよいなお、小、中学生は抜き戦、クラス対抗戦も行う

▽申込み＝二月十六日までに町教育委員会へ。

町内駅伝3月21日
コースは昨年どおり

第二十六回町内駅伝競争大会は三月二十一日午前十時半、阿小グロンドを出発、七区間十五・九キロのコースで行われます。

コースと区間距離は昨年と同じく一区小学生（一・七キロ）二区青年（二・六）三区中学生（二・

海外派遣や青年の船の参加者募る

総理府では①青年海外派遣（中近東・アジア・北米）②青年の船（アメリカ合衆国）③東南アジア青年の船（インドネシア、マレーシア、フイリッピン、シンガポール、タイ）の団員を募集しています。

二十歳から二十五歳まで（ただし東南アジア青年の船は十八歳から三十歳まで）の青年で参加希望者は、二月二十日までに役場希望者は、二月二十日までに役場希望者は、二月二十日までに役場

わが町 わがふるさと

本町に根をおろした人たち

「あじす再発見」は二十五回、「町の隅からこんにちわ」は十一回をもって終りました。今回からは「わが町、わがふるさと」の欄を設けます。これは、町外から本町に転入、ここ三年のうちに家を建て、永住をきめられた人たちに登場してもらいます。そして、その人のふるさとのことや、阿知須に根をおろし望このふるさとよりた理由、それらのよいところ、悪いところなど新しい目で語ってもらいたいと思います。そこには本町の再発見があり、町の隅からの声も聞かれると思います。登載希望やご意見のある方はお申出いただきたいと思います（係）

人情にひかれ

江本　嘉三

○島根県西見町で生まれ、二十歳で家を離れ大阪、宇部を経て阿知須に来ました。西見町は広島県との境に近く、山間の地です。湿度が高く健康にもよくないので若い者は次々と村を離れていきました。いま、村に残っているのは殆んど年寄りです。

○その点、阿知須は何もかも恵まれていると思います。都市に近く、海も山もあり、交通の便もよいところです。それに人情が豊かです。一度、お世話になった人か知りませんが、町外の人にも天のご縁でご（ふじみや内）に店（鮮魚店）を出したのが阿知須に落ち着くもとになったのです。十年ぐらい宇部市草江から通っていて、いよいよ気に入ったからです

○一家を建てて三年が過ぎました。若い産業の前山社宅入口であれから周囲にたくさん家が建ちました。前山区の世帯数が四十世帯ぐらいだったのが今では七十世帯ぐらいになっています。阿知須に来て「しまった」と思ったことは一度もありません。みんなに可愛がっていただくので感謝でいっぱいです。

○しいて気付きというなら、客に「売ってやる」というような感じの店が多いように思いました。それと、十近くでこに通っていても、町外の者だということでクーポンを利用させてもらえなかったことが、今もって残念でなりません。今はどのようにされているか知りませんが、町外の人にも大いに利用されること、それが店の発展、町の発展につながるのではないでしょうか。（前山区・40歳）

総額は前年を下回わる

49年度 決算 各会計とも黒字または差引きゼロ

一般会計 歳入歳出

四十九年度（四九年四月～五〇年三月）の阿知須町一般会計や特別事業会計の決算が一月の町議会で承認されました。

この年度は不況と物価高の中での財政運営でしたが、財政の重点的な配分と効率化をはかりながら町の台所をまかなった結果、一般会計と国民健康保険、交通災害共済、土地取得会計は黒字、簡易水道会計は収支トントンでした。各会計運営の状況は次のとおりです。（千円未満切捨）

▽一般会計△

歳入（年間の収入）は六億四十九億六千四百五十八万円。これに対して歳出は五億四千四百五十八万三千円で、差引五千五百八十七万三千円の黒字でした。しかし、歳入歳出とも前年を下回っており、これは二〇年来はじめてのことでした。

〔歳入〕　総額は前年より九百九十一万九千円少なく、一・六%の減。これは公共事業がおさえられ国・県の支出金や町債が少なかったことが大きな原因。

歳入内訳は①地方交付税三一・九%②町税二九・六③娯楽施設利用税九・四④国庫支出金⑤県支出金などの順。

町税は総額一億七千七百九十八万三千円。

〔歳出〕　前年より総額一〇%の支出減。目的別では①総務費が一億三千万円余で全体の二四・〇%②民生費一八・〇③教育費一六・七④農林水産⑤土木費の順。

性質別では人件費一億四百万円余で三七・五%（うち職員給一七・八）ついで投資的経費一七・〇物件費の順。

主な事業は

総務関係が駅前のくみあい給油用地買収、町長公用車、戸籍事務機購入、小古郷海岸線の歩道新設民生関係は赤迫仙石線道路改良。衛生関係はごみ処理、水道会計への繰出し。農林水産関係は近代化利子補給、松くい虫対策、地鎮祭費、井関農海改良、万年水路改修農村モデル基本計画作成養豚牛補助・魚礁・赤貝養殖、経営安定利子補給など。商工関係は商工会への助成や安定資金の利子補給。

土木は都市計画経費線用地買収駅前武野商店の移転、消防は尚井関の防火用水槽新設、二・三分団機庫補装。

教育関係は引野公民館、井関小の宿直室改造、中学校音楽教の屋根改修　給食運搬車購入。

▽特別会計△

国民健康保険

歳入億一百五十八万円、歳出九千九百五九二千円で差引き三百五十二万八千円の黒字。

歳入の九四・六%が国庫支出金ついで保険税二四・二%、その他。

歳出は九一・二%が保険給付。

参考に数字を拾うと、国保加入は年平均八百四十世帯、二千百九十一人。一人当りの保険税一万五千九百二十九円。これに対して要した費用は一人当りの五万五千七百七十円。老人医療の対象者をみると一人平均約二十一万三千円かかったことになります。

簡易水道事業

歳入・歳出とも二千百十二万円で差引きゼロ。しかし、実際には一般会計から四百九十万二千円を繰入れて穂先を合わせたため。

一日最大給水量は千三十九立方尺、最小六百五立方尺。年間給水量の四〇・三%を三郡市から分けてもらっています。給水人口は三千四百五十七人、八百九十八戸。

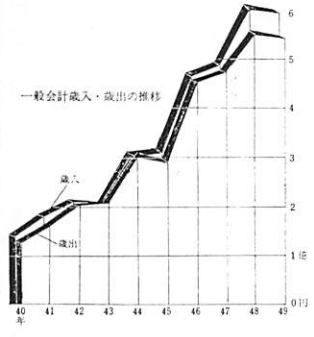
交通災害共済

歳入四百六十二万二千円、歳出三百六十九万八千円で差引き九十二万四千円の黒字。

見舞金を支払ったのは計十八人うち三人が死亡し六十万円ずつ払っています。

土地取得

公共事業用の土地を買うために設けられた制度。歳入八百九万六千円、歳出六百二十七万一千円で二百六十三万五千円の繰越し。土地二件を買いました。



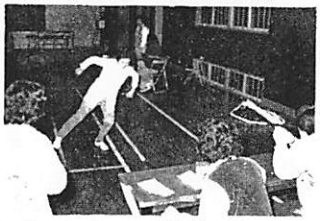
町税内訳

税目	税額	1人当り	1世帯当り
町民税	71,642千円	8,804円	33,905円
固定資産税	69,227	8,508	32,762
軽自動車税	4,328	532	2,049
たばこ消費税	12,944	1,591	6,126
電気税	8,004	984	3,788
木材引取税	11	1	5
入湯税	673	83	318
都市計画税	10,574	1,300	5,004
特別土地保有税	579	71	274
計	177,982	21,874	84,231

※　法人が納めるのも個人として計算

カメラと話題と

成人式　ことしの町成人式は1月15日、町議事堂で行われました。該当者126人のうち81人が出席し、中尾町長や来賓のあいさつ、後輩の山田美加さん（阿中2年）の祝辞があり、ついで成人者を代表して兼重みゆきさん（寺河内）が記念録化の目録を町長に贈呈、増野都さん（旦東）が答辞を読みました。式後は講演、記念写真撮影、レクリエーションがあり、あじす101の音楽、成人者同士のゲームなどで、なごやかなひとときを過しました（写真はゲームに興じる成人者）



スポーツ・ウーマンは若いネ　「あら、よく曲ること」「なかなか跳べないね」…バレーボールに親しむ奥さんたちは元気はつらつ。1月24日のバレーボール練習初めはまず体力テストからということで、中学体育館はなごやかなムードがいっぱい。同好会、ママさん、同志会員など約40人が自分を見直すための体力テストをしました。垂直跳び、前屈、横への反覆跳びなど数種のテストに、スポーツに励む人たちは年齢標準より若い人が多いと判って、にこにこ「これからも、しっかりやろうネ。」（写真は体力テスト中の婦人）

干拓地の草焼き　1月26日午後、干拓地の草焼きが行われました。農林省所有のこの干拓地は広さ285ヘクタール。ヨシ、カヤ、セイタカアワダチソウなどの草が繁り、スズメや虫などの巣になるので、毎年、春さきに草を焼き払っているもの。消防団員約60名がタイヤに火をつけて、草の間を引っぱるとパッと火の手が上り、西風に追われて、火の波が神の方へと広がり、3時間ばかりで焼き尽しました。（写真は焼える干拓地）

防火の習字が入選　山口地区危険物安全協会はさきに管内の小中学生から防火の習字作品を募集。審査の結果、本町から井小5年国重美代子さんと阿小4年綱村美香さんが入選しました。

役場の窓

◆中尾岩雄町長は1月二十四日から六朝目の任期にさきましたが、その朝、職員全員を集めてあいさつ。その中で「地域の奉仕者として自覚にたって仕事に精励してほしいそのためには創意をどんどん出してほしい」と呼びかけました。

◆歳末助付金の結果、本町では三千一万余円が町福祉協議会に寄せられました。その中に町職員大下貞子の六千五百円が含まれていますが、これは拾ったお金を警察に届けていて、落し主が出ないのでまた拾得者に返ってきたのをそのまま寄付したもの。また、社協の事務を扱う厚生課の職員も少額を持ち寄っての寄付。施設課の兼重隆文は小中学校にいちょうの木の苗九百本を寄贈、生徒たちは家に持ち帰って植えました。

慶弔録

出生（おすこやかに）

父	続柄	子の名	月日	部落
井本邦昭	一男	承治	12・22	前
藤岡達也	長女	葉子	〃・23	岩西
金子昌司	長男	利明	〃・25	小南
恵子（山本）	一男	良和	〃・26	河野敏美
〃	〃	〃	〃・26	長女 恵
〃	〃	〃	〃・27	赤迫
〃	〃	〃	〃・29	北祝
〃	〃	〃	〃・30	石川光弘
〃	〃	〃	〃・31	井関
〃	〃	〃	〃・31	山口市今井町
〃	〃	〃	〃・31	野口
〃	〃	〃	〃・31	縄北
〃	〃	〃	〃・31	山口市佐山
〃	〃	〃	〃・31	岩西
〃	〃	〃	〃・31	小東
〃	〃	〃	〃・31	宇部市中宇部
〃	〃	〃	〃・31	縄南
〃	〃	〃	〃・31	下関市内目下
〃	〃	〃	〃・31	玖珂郡周東町
〃	〃	〃	〃・31	日北
〃	〃	〃	〃・31	山口市宮野下
〃	〃	〃	〃・31	阿武郡阿東町
〃	〃	〃	〃・31	砂一
〃	〃	〃	〃・31	砂三
〃	〃	〃	〃・31	山口市今井町
〃	〃	〃	〃・31	野口
〃	〃	〃	〃・31	縄北
〃	〃	〃	〃・31	山口市佐山
〃	〃	〃	〃・31	岩西
〃	〃	〃	〃・31	小東
〃	〃	〃	〃・31	宇部市中宇部
〃	〃	〃	〃・31	縄南
〃	〃	〃	〃・31	下関市内目下
〃	〃	〃	〃・31	玖珂郡周東町
〃	〃	〃	〃・31	日北
〃	〃	〃	〃・31	山口市宮野下
〃	〃	〃	〃・31	阿武郡阿東町
〃	〃	〃	〃・31	砂一
〃	〃	〃	〃・31	砂三
大賀真澄	順子（伊藤）	東	〃・31	下関市内目下
北野照正	信江（北野）	日北	〃・31	玖珂郡周東町
山口市宮野下	洋子（塩見）	砂一	〃・31	日北
阿武郡阿東町	恵子（山本）	砂一	〃・31	山口市宮野下
〃	〃	砂三	〃・31	阿武郡阿東町
山口市今井町	公子（秋本）	野口	〃・31	砂一
野口	重永光広	縄北	〃・31	砂三
縄北	美子（石井）	山口市佐山	〃・31	山口市今井町
山口市佐山	京子（黒田）	岩西	〃・31	野口
岩西	貢	小東	〃・31	縄北
小東	キヨミ（三好）	宇部市中宇部	〃・31	山口市佐山
宇部市中宇部	歳谷克夫	縄南	〃・31	岩西
縄南	三枝子（立岡）	三重県松坂市	〃・31	小東
三重県松坂市	氏名	年令	部落	宇部市中宇部
死亡（ご冥福を祈ります）	引目	年令	部落	縄南
岩上	砂三	築地	砂三	下関市内目下
1・6	1・7	1・8	1・9	1・11
77	80	79	83	91
岩上	砂三	浜	砂三	日東
上野	小森	小川	重村	岡本
ナカ	円助	幸一	太助	ミス
1・13	1・15	1・17	1・18	1・24
94	89	90	70	42
赤迫	河内	小西	引野	小南
坂田イツノ	片山	ヤス	松本キクノ	静江（岡村）
岩江	愛媛県北条市	釈野カツコ	林	博

婚姻（おしあわせに）

吉本和博	京子（新谷）	浜	豊浦郡豊田町
田中利伸	ひろ子（福重）	寺河内	防府市南松崎町
本原克介	静江（岡村）	岩江	愛媛県北条市
田口孝利	八重子（藤川）	岩上	

みんなの広場

あなたの文芸作品やご意見、お気づきのことなど未発表のものをお寄せください

短歌

浜　正司ウメノ

孫達のあがりし後の湯の中に浮きしおもちをかき分けて入る　小西　藤重ヤチ

竿になりかさになりて鳴る群海苔摘むわれの頭上とび行く　小西　平海アサノ

知る人も稀になりたるふる里の祭に出合ひし友なつかし　小東　松尾　君代

商いと任立を終えて夫と昔しめ縄かざりつつ除夜の鐘きく　小西　松尾ウメコ

何事もなくて元旦むかえたりもったいないと屠蘇をいただく　北祝　原田　双恵

正月に集う孫等増えきたり恍惚もせず雑事して居り　病院の窓より見れば本宮寺の屋根高く見えわれは拝みぬ　砂三　藤永ミツノ

残業の終りて急ぐ足元の凍みたる路に粉雪の舞う　浜崎　恒子

砂三　浜崎　恒子

越えに備えて役場のフエニックス　砂代　一郎

我が照らすランプに光る夜の鎧ふみて初詣での農道を急ぐ　砂三　渡辺　宮子

慰霊碑の間より見ゆる原爆ドーム夕映えに黒く鎮もりてあり　小西　蔵本　喜一

をすれば犬遠吠える　北祝　原田　英子

波羅が浜の松を吹く風窓に鳴り熱き甘酒すすめられ居り　岩西　中本　幸枝

成人式の子の晴姿見送りつつ亡き夫にも共に見せたく思う　浜崎　恒子

砂三　浜崎　恒子

飛石　砂村ヤス子

有線放送のやさしき声は子供等に凧あげ大会明日と告げ居り　砂一　松代　一郎

蔵に藁を被せたりけり　浜　石田サタ子